

(第1回変更) 契約変更の内容

契約変更年月日	令和 7年 3月 13日
契約業者名	(一財) 阪神高速先進技術研究所
契約業者の住所	大阪府大阪市中央区南本町4-5-7
業務の名称	阪速高速道路ネットワークモデルの実務適用等に関する検討業務(その3)
業務場所	
業務種別	土木設計
業務概要	
業務期間(自)	令和 6年 5月 11日
業務期間(至)	令和 8年 3月 13日
契約金額	47,190,000 円
変更金額	9,328,000 円 増
変更後の契約金額	56,518,000 円
変更理由	別紙のとおり

※金額は、税込みである。

変更契約理由書

阪神高速道路ネットワークモデルの実務適用等に関する検討業務（その３） 第1回変更

（１）地震シミュレーション・地盤応答解析に関する検討内容の変更

過年度業務「阪神高速道路ネットワークモデルの実務適用等に関する検討業務（その２）」において南海トラフ地震動を用いた地震シミュレーションを実施している。本業務においては、阪神高速道路の大半を占める一般高架橋に対して大きな影響を与えると思われる上町断層を想定した地震シミュレーションのために地震動を作成することを考えていた。

しかしながら、本検討を進める中で、検討の優先度を再検討した結果、３０年以内発生確率が高いとされる南海トラフ地震の被災傾向把握結果の分析・評価を実施することとした。

また、南海トラフ地震動の精度向上のため、経験的グリーン関数法を用いた地震動作成を行う。

（２）長大橋の耐震性評価における現況構造の耐震性能評価の追加

港大橋の耐震性能評価において、現行モデルと耐震補強時モデルの違いによる解析結果への影響を把握するため、現行業務で使用している解析モデルに過年度耐震補強設計時に当該橋梁用に設定した設計地震動を入力する解析を実施する。

（３）業務期間の変更

（１）～（２）の内容の検討のため、業務期間を約12か月間延長する。

以上